

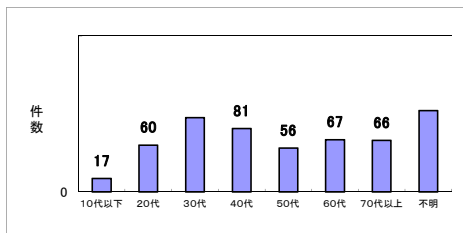
平成23年12月分の消費生活相談の概況

- 12月の相談件数は、546件で〈表1〉のとおりです。前年同月(580件)と比べ、34件の減少です。
- 総相談件数546件のうち、「不当請求」と判断される相談は128件で、前年同月(130件)と比べ、2件の減少です。
- 契約者の年代別相談件数は、〈図1〉のとおりです。30代が一番多く95件、以下40代81件、60代67件の順です。
- 相談の多かった商品・サービスは、〈表2〉のとおりです。第1位は「インターネット情報」で、以下「不動産貸借」、「消費者金融(サラ金)」、「インターネット接続回線」、「商品一般」となっています。

〈表1〉

区分		総相談件数		販売購入形態別相談件数								危害・危険		不当請求	
		うち 苦情相談	うち 苦情相談	店舗購入	訪問販売	通信販売	マルチ・マル チまがい	電話勧誘 販売	ネガティ ブ・オブ ション	その他 無店舗	不明・無関係	危害	危険	うち 架空請求	
12月	件数	546	514	135	34	168	11	32	1	3	162	7	3	128	10
	構成比 (%)	100.0	94.1	24.7	6.2	30.8	2.0	5.9	0.2	0.5	29.7	/	/	/	/
累計	件数	4,815	4,502	1,208	372	1,487	49	233	8	45	1,413	52	23	1,185	95
前年同月	件数	580	548	189	39	150	4	37	2	6	153	2	2	130	11

〈図1〉 年代別相談件数



〈表2〉 商品・サービス上位5品目

順位	商品名等	件数	主な内容
1	インターネット情報	113	アダルト情報サイト、出会い系サイトなど
2	不動産貸借	30	賃貸アパート、借家など
3	消費者金融(サラ金)	29	消費者ローン
4	インターネット接続回線	18	インターネット回線等の料金、サービスの内容など
5	商品一般	17	特定できない商品(架空請求ハガキなど)

お知らせ

若者(29歳以下)の相談状況

★悪質商法被害防止キャンペーン実施中！！

1 年代別相談件数

全体の相談件数は、昨年度に比べ285件、6%減少。若者の相談件数は99件、13%減少。

	H23.4~12	H22.4~12	増減
全体の相談件数	4,815	5,100	△285(△6%)
上記のうち29歳以下	684	782	△98(△13%)

2 販売購入形態別相談件数

若者は、インターネット等通信販売関係の相談が多い。(相談件数の6割弱)

	合計	店舗購入	訪問販売	通信販売	マルチ・マル チまがい	電話勧誘 販売	その他無店 舗	不明・無関 係
全体の相談件数	4,815	1,208	372	1,487	49	233	53	1,413
うち29歳以下	684	169	40	376	8	9	11	71

3 相談の多い商品・役務の上位の品目

若者は、インターネット、不動産貸借(賃貸アパートの退去時のクリーニング等の料金トラブル)、消費者金融・多重債務の相談が多い。

順位	H23.4~12			H22.4~12		
	件数	前年比較		件数	順位	
1	インターネット情報	309	△80	インターネット情報	389	1
2	不動産貸借	43	10	消費者金融(サラ金)	43	2
3	消費者金融(サラ金)	26	△17	不動産貸借	33	3
4	四輪自動車	21	6	商品一般	25	4
5	商品一般	20	△5	四輪自動車	16	5

◇◇相談事例◇◇

◇悪質な出会い系サイトのトラブル

「悩みを聞いてくれたら、お金あげる」というのでメール交換を始めた。メール交換をするためのポイント代をカードで支払い、1日で約6万円にもなった。

「会ったときにお金は払う」というので続けていたが、同様事例をネットで検索したら、だまされている事がわかった。ポイント代の未払い分を払いたくない。

困ったとき、おかしいなと思ったときは、ご相談ください！

新潟県消費生活センターの来所相談は予約制です。まず、電話でご相談下さい。相談電話 025-285-4196